

開館 15 周年
PRIDE OF YOKOSUKA
スカジャン展



《YOKOSUKA Dragon》 1946 年 テーラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社） 蔵

展覧会紹介

戦後、米兵の日本滞在のスーベニア（おみやげ）として、和装由来の鷲、虎、龍などの豪華な刺繍を施したジャケットが誕生します。

日本国内の米軍基地内やその周辺で売られ「スーベニアジャケット」と呼ばれたこのジャケットは、その後、日本人のアメリカンカジュアルへの憧れや、ヴィンテージブームにより、数多くが日本に里帰りします。そのなかで、戦後よりスーベニアジャケットを売り続けている横須賀「ドブ板通り」のイメージと結び付き、「横須賀ジャンパー」略して「スカジャン」の名でファッションアイテムとして定着し、現在、日本のみならず世界中で根強い人気を誇っています。

本展では、テーラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社）の貴重なヴィンテージ・コレクション約 140 点を中心に、横須賀を代表するアイテムでもあり、現在、世界中のファッションシーンからも注目を集める「スカジャン」の魅力あふれる世界をご覧ください。

あわせて、戦後から 50 年代に横須賀「ドブ板通り」で実際に販売されていた商品や写真等により、全国の米軍基地周辺で展開した「基地文化」の一端を紹介します。

展覧会情報

会 期

2022（令和 4）年 11 月 19 日（土）～12 月 25 日（日）
休館日 12 月 5 日（月）

観覧料

一般 1,300（1,040）円、高大・65 歳以上 1,100（880）円 中学生以下無料
*（ ）内は 20 名以上の団体料金 *高校生（市内在住または在学に限る）は無料
*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方 1 名様は無料

主催等

主 催：横須賀美術館
特別協力：東洋エンタープライズ株式会社
協 力：ドブ板通り商店街振興組合
企画協力：ドブ板スカジャン研究会
助 成：令和 4 年度コミュニティ助成事業（地域の芸術環境づくり助成事業）

お問い合わせ 横須賀美術館 〒239-0813 横須賀市鴨居 4-1

○ホームページ：https://www.yokosuka-moa.jp e-mail:kouhou@city.yokosuka.kanagawa.jp

○取材・画像提供に関すること 総務係：小川、八島、伊賀 電話 046-845-1211

○展示内容に関すること 担当学芸員：栗林、富田 電話 046-845-1212

●見どころ1

テラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社）が
所蔵するヴィンテージ・スカジャン約 140 点が一堂に

本展の中心は、戦後、スーベニアジャケットをはじめとした衣料品を米軍施設へ納入していた「港商商会」を前身に持ち、半世紀以上スーベニアジャケットを作り続けているテラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社）が所蔵する貴重なヴィンテージ・スカジャン約 140 点を一堂に展示します。

本展で展示する 1940 年後期から 1960 年代頃にかけて制作された、いわゆるヴィンテージ・スカジャンの特徴のひとつとして挙げられるのが、特殊なミシンを用いた「横振り刺繍」と呼ばれる日本独自の刺繍技術が用いられた豪華な刺繍です。職人の手によって生まれる独特の立体感や美しい色合いなど、スカジャンが持つ高い刺繍技術は、当時の米兵たちを魅了し、彼らはこぞってスカジャンを買い求めました。

本展では、スカジャン最大の魅力であるこの刺繍を間近にご覧いただけます。他にも、スカジャンが持つ多彩な魅力を資料や解説とともにご紹介します。



本展で初公開となるスカジャン。

目を見開き天に昇る龍の絵柄は、現在までにこの 1 着しか発見されていない。

何重にも刺繍を重ね、龍の角や髭、鱗などの模様や質感が緻密かつ立体的に表現されている。

戦後すぐの 1946 年に制作されたスカジャンであり、歴史を辿るうえでも資料性の高い一着である。

《YOKOSUKA Dragon》 1946 年 テラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社） 蔵



刺繍が一般的なイメージのスカジャンだが、本作に見られるハンドプリント（手捺染）によるものも、極僅かに生産されていた。

色の数だけ版を必要とするこの手法は、大変手間がかかり、本作はさらに鷲の羽の部分に刺繍が施されている。

本展では、このような、希少なヴィンテージ・スカジャンを多数展示する。

《Mt. Fuji, Cherry Blossoms and Eagle》 1950 年代中期 テラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社） 蔵

●見どころ2

戦後から 50 年代にかけての横須賀「ドブ板通り」の様子を紹介

戦後、横須賀には米海軍基地が置かれ、寄港する米兵や関係者で街は賑わいを見せます。その米兵たちが求めたものが、自身や本国の家族や恋人に送る「日本のおみやげ・記念品」でした。

米海軍基地近くの横須賀「ドブ板通り」には、「スーベニヤ（屋）」と呼ばれる、スカジャンをはじめとする米兵向けのおみやげを扱う商店が軒を連ねました。

本展では、戦後、全国の米軍基地周辺で展開した「基地文化」の一端を、横須賀「ドブ板通り」の写真や資料、実際に米兵向けに売られていた商品により紹介します。



この頃、ドブ板通りには、「SOUVENIR-STREET」の文字が掲げられていた。

《ドブ板通りを歩く米兵》 1955 年 10 月
米公文書館 蔵（横須賀市立中央図書館郷土資料室提供）



《ドブ板通りの米兵向け土産物店「スーベニヤ」》 1956 年 9 月
米公文書館 蔵（横須賀市立中央図書館郷土資料室提供）



米兵の似顔絵が入れられた手描きのスカーフ。戦後すぐの横須賀において、米兵向けの商いの一端を知ることができる。

《Caricature Scarf "Yokosuka Japan"》
1946 年 横地 広海知氏 蔵

●その他

世界中のファッションシーンから注目を集める“スカジャン”

日本人のアメリカンカジュアルへの憧れやヴィンテージブームのなかで、スーベニアジャケットは横須賀「ドブ板通り」のイメージと結び付き、「横須賀ジャンパー」略して「スカジャン」の名でファッションアイテムとして昇華し、現在、多くの世代から熱い支持を得ています。

本展では、Chrome Hearts、DIOR など世界的なファッションブランドが手掛けたスカジャンを展示し、世界中のファッションシーンからも注目を集めるスカジャンの現在をご覧ください。

展示予定ブランド ・ Chrome Hearts ・ DIOR ・ COMME des GARCONS
・ Yohji Yamamoto ・ TAILOR TOYO

「横振り刺繍」アーティストの作品を展示

和装刺繍やヴィンテージ・スカジャンに用いられている「横振り刺繍」。その独特な刺繍表現に惹きつけられ、横振り刺繍を自身の作品に取り入れ創作活動を行うアーティストを作品とともに紹介します。

展示予定アーティスト ・ 大澤紀代美 ・ 田沼千春 ・ NUICO ・ OZAKI FUMINA

開館 15 周年
PRIDE OF YOKOSUKA
スカジャン展

2022 年 11 月 19 日（土）－ 12 月 25 日（日）横須賀美術館

掲載図版／チケットプレゼント申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館行き

本展覧会の掲載図版ならびにチケットプレゼント用招待券（ペア 10 組分／20 枚）をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版に ☒ してください。（展覧会メインビジュアルは《YOKOSUKA Dragon》です）



☐ 《YOKOSUKA Dragon》

1946 年

テラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社）蔵



☐ 《YOKOSUKA Dragon》（部分）

1946 年

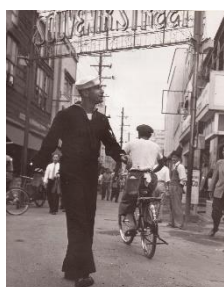
テラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社）蔵



☐ 《Mt. Fuji, Cherry Blossoms and Eagle》

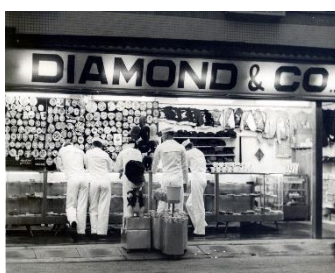
1950 年代中期

テラー東洋（東洋エンタープライズ株式会社）蔵



☐ 《ドブ板通りを歩く米兵》 1955 年 10 月

米公文書館蔵（横須賀市立中央図書館郷土資料室提供）



☐ 《ドブ板通り・ダイヤモンド商
会でパッチを選ぶ米兵たち》

1958 年頃 ダイヤモンド商会蔵



☐ 《ドブ板通りの米兵向け土産物店「スーベニヤ」》

1956 年 9 月

米公文書館蔵（横須賀市立中央図書館郷土資料室提供）

必ずご記入ください⇒ 貴社名 TEL.

貴誌（紙）名 ご担当者様お名前

メールアドレス（画像データ送付先）

ご要望事項（サイズ・解像度など）

チケットプレゼント用招待券 ☐ 希望する ☐ 希望しない

※チケットを 20 枚以上希望される方は、必要な枚数をお書き添えください。

ご住所（チケット送付先）